第59期 定時株主総会

2022年 6月17日(金)

ウェーブロックホールディングス株式会社

証券コード:7940

(東証スタンダード)





連結業績概要

2022年3月期 決算のポイント

売上高 21,002百万円

- 前年同期比△28.2%、予想比+3.0%
- ・前年同期実績からインテリア事業を連結対象外とした参考値 (20,173百万円)に対して+4.1%
- マテリアルソリューション事業、アドバンストテクノロジー 事業ともに売上高は前年同期比増加

サマリー(続き)



2022年3月期 決算のポイント

営業利益 649百万円

- 前年同期比△56.4%、予想比△13.4%
- 前年同期実績からインテリア事業を連結対象外とした参考値 (709百万円)に対して△8.4%
- 第3四半期までは概ね想定どおりに推移したものの、第4四半期 に失速。業績予想750百万円に対し100百万円未達
- 原材料価格高騰で、第4四半期のマテリアルソリューション事業において想定を超える原材料仕入負担が発生したことが主因。
- ・ アドバンストテクノロジー事業は前年同期比340.3%増。 自動車向け販売の好調により利益率も上昇





2022年3月期 決算のポイント

当期純利益 655百万円

- 前年同期比△72.6%、予想比△14.9%
- 前年同期はインテリア事業を営む(株)ウェーブロックイン テリア(現:クレアネイト(株))株式譲渡により子会社株 式売却益を計上

2022年3月期 決算概要



(単位:百万円)

| | 2021年3月期 (実績) | 2022年3月期 (実績) | 前期比 増減額 | 前期比 増減率 | 業績予想 (2022年 7月30日 修正) | 予想比 増減額 | 予想比 増減率 |
|-------------------------------------|------------------|------------------|------------|------------|--------------------------------|------------|------------|
| 売 上 高 | 29,248 | 21,002 | △8,245 | △28.2% | 20,400 | +602 | +3.0% |
| 営 業 利 益 | 1,489 | 649 | △ 839 | △56.4% | 750 | △ 100 | △13.4% |
| 経 常 利 益 | 1,428 | 903 | △ 525 | △36.8% | 1,070 | △ 166 | △15.6% |
| 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 | 2,386 | 655 | △1,731 | △72.6% | 770 | △ 114 | △14.9% |
| 1 株 あ た り 当 期 純 利 益 ¹ | 244.82 | 69.73 | - | - | 81.96 | - | - |
| EBITDA ² | 2,568 | 1,219 | - | - | - | - | - |

^{1.} 発行済株式総数から自己株式等を控除した期中平均株式数により計算しています。期中平均株式数は、2021年3月期は9,748,354株、2022年3月期は9,394,949株です。

^{2.} EBITDA=営業利益+減価償却費

2021年3月期(参考値)との比較



2021年3月期実績からインテリア事業譲渡による影響を排除し比較

(単位:百万円)

| | | | | 2021年3月期 (参考値) [※] | 2022年3月期 (実績) | 前期(参考値)比 増減額 | 前期(参考値)比 増減率 |
|----|------------|---|----|--------------------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 売 | ١ | L | 高 | 20,173 | 21,002 | +829 | +4.1% |
| 営 | 業 | 利 | 益 | 709 | 649 | △ 59 | △8.4% |
| 経 | 常 | 利 | 益 | 953 | 903 | △ 49 | △5.2% |
| 親会 | 社株主 期 約 | | する | 622 | 655 | +33 | +5.3% |

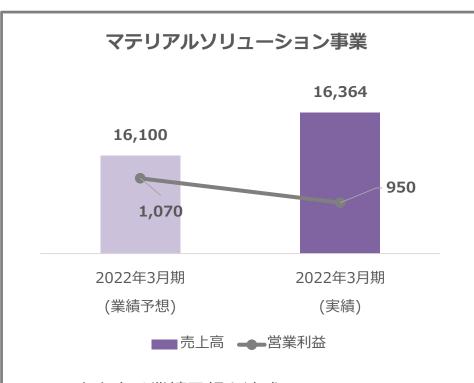
※インテリア事業に係る損益計算書および(株)ウェーブロックインテリア(現:クレアネイト(株))株式譲渡による 影響を除き、同社連結2021年3月期当期純利益の49%相当を持分法による投資利益として経常利益に計上



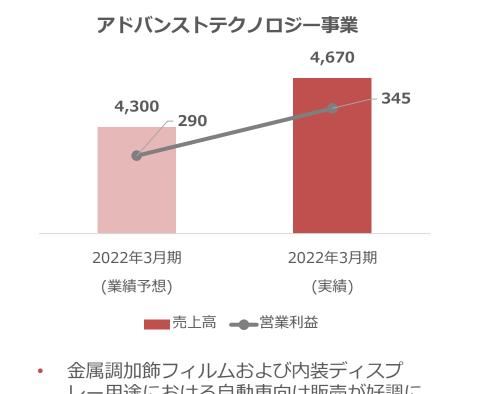
各事業セグメント概略



(単位:百万円)



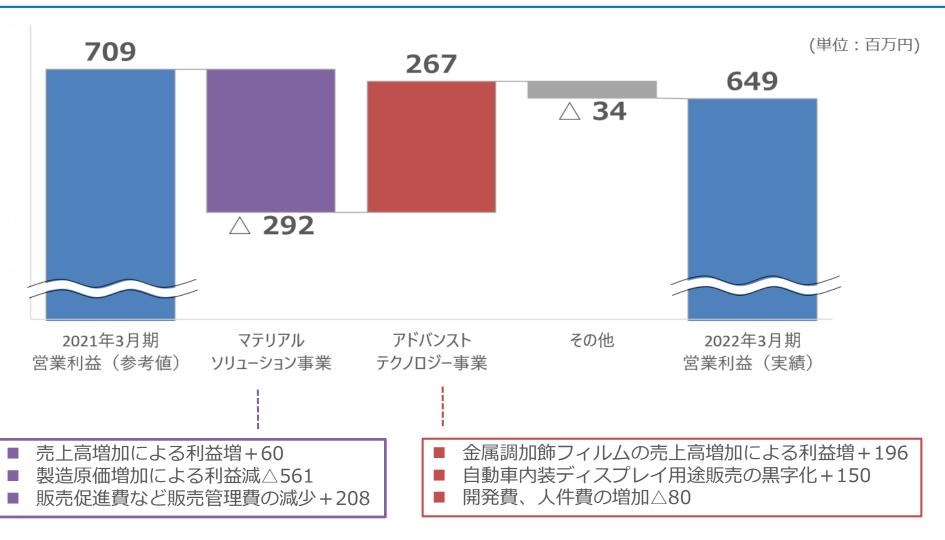
- 売上高は業績予想を達成
- リビングソリューションにおいては主力製品である張替用防虫網等が前期好調の反動減により苦戦するも、他商材を販売する等の営業努力により売上予想を達成
- 一方、営業利益では想定以上の原材料価格上 昇により、全分野で予想を下回る



- ・ 金属調加飾フィルムおよび内装ディスプレー用途における自動車向け販売が好調に推移し、売上高、営業利益ともに業績予想を達成
- 営業利益では、第4四半期に材料の減損処理 など約84百万円を計上したものの、業績予 想を大幅超過

営業利益 増減要因(前年同期比)





※2021年3月期営業利益(参考値)はインテリア事業に係る損益計算書および(株)ウェーブロックインテリア (現:クレアネイト(株))株式譲渡による影響を除外



2023年3月期 業績見通し (中期3力年計画の2年目)



2023年3月期 業績の見通し

- 売上高 24,400百万円(前期比 +16.2%)
- 営業利益 590百万円 (前期比 △9.2%)

(単位:百万円)

| | | | | | 2022年3月期 (実績) | 2023年3月期 (業績予想) | 前期比増減率 | 2023年3月期 (中期計画) | 中計比増減率 |
|-----------------|-----------|---------|----------------------|--------|------------------|--------------------|---------|--------------------|---------|
| 売 | | 上 | | 高 | 21,002 | 24,400 | +16.2% | 23,100 | +5.6% |
| 営 | 業 | | 利 | 益 | 649 | 590 | △9.2% | 940 | △37.2% |
| 経 | 常 | | 利 | 益 | 903 | 595 | △34.1% | 1,240 | △52.0% |
| 親 <i>全</i> 当 | 会社株: 期 | 主に 純 | 帰属 [·] 利 | する 益 | 655 | 2,130 | +225.2% | 950 | +124.2% |
| 1 当 | 株 期 | あ 純 | た 利 | り 益 | 69.73 | 252.49 | _ | - | - |

- 業績予想の前提 ナフサ価格:70,000円/kl~80,000円/kl 為替:125円/USD
- 当期純利益では、クレアネイト(株)(旧:(株)ウェーブロックインテリア)の株式譲渡により、第1四半期に特別利益2,528百万円計上を含む

マテリアルソリューション事業





売上高 19,500百万円(前期比+19.2%、中計比+8.3%) 営業利益 890百万円(前期比△6.3%、中計比△28.8%)

- 今期より(株)エイゼンコーポレーションを連結。これにより売上高1,395百万円(うち地中熱ビジネスの売上高400百万円)増加を見込む。地中熱ビジネス案件対応のための人員採用に注力
- 引き続き生産効率向上に注力するとともに、ソリューションを伴う販売や地中熱ビジネスの展開、環境負荷軽減製品など製品性能の改善による競合との差別化を図ると同時に、一定の利益率を維持するために原材料価格上昇分の売価転嫁値上げを実施予定
- 売上高は全分野で前年同期比増加を見込むものの、原材料価格上昇のため営業利益は減少の見込み

アドバンストテクノロジー事業





売上高 4,900百万円(前期比+4.9%、中計比△3.9%) 営業利益 390百万円(前期比+12.8%、中計比+18.2%)

- デコレーション&ディスプレー分野における自動車向け販売は売上高・営業利益ともに前年同期比増加を 見込む。新興EVメーカーであるリビアン向け外装用途や、5月より順次発売されるGMキャデラックブラ ンド初のEV車「キャデラック・リリック」向け光透過エンブレムおよび内装パーツ販売等による北米向 け売上高増加を期待。成長基盤強化のための投資を進めることにより、減価償却費などのコスト増を予定
- その他、医療品印刷および開封テープは前年同期同等。ディスプレー用拡散板販売は売上高、営業利益と もに前年同期比減少



グループ投資計画



2021年3月期から2023年3月期までの3年の間に 重点領域を見極め、投資を実行

・2022年3月期実績:3.6億円 主にマテリアルソリューション事業の 設備へ投資

収益基盤投資 約10億円 ・2023年3月期:約8.1億円(予定)マテリアルソリューション事業、アドバンストテクノロジー事業ともに積極投資を予定

新規事業投資 約30~35 億円 3年間 合計 約70億 円

成長基盤投資 約25億円

- ・2022年3月期実績: 0.5億円 (株) エイゼンコーポレーション株式取得に 着手など
- ・2023年3月期:約16.6億円(予定) マテリアルソリューション事業における地中 熱ビジネス展開強化、アドバンストテクノロ ジー事業拡大のための積極投資を予定

ICTプラットフォームや環境 関連製品事業など、樹脂加工 には拘らず、既存事業の深化 や強みを活かせる新規分野の 探索を推進

※投資金額は事業供用開始時を基準に記載

配当について



基本方針

配当性向35%以上を目安に、単年度の業績ボラティリティに左右されない安定的な配当を維持

2022年3月期 配当

- 通期30円(第2四半期末、期末それぞれ1株あたり15円)
- 配当性向:43.0%

2023年3月期 配当見通し

- 通期30円(第2四半期末、期末それぞれ1株あたり15円)
- 配当性向:65.8%(クレアネイト(株)(旧(株)ウェーブロックイン テリア)株式譲渡による影響を除いて算出)



- ※ 2020年3月期までの配当性向は負ののれん償却額の影響を考慮した配当性向(負ののれんは2020年3月期に償却が終了)
- ※ 2021年3月期および2023年3月期の配当性向はクレアネイト(株)(旧(株)ウェーブロックインテリア)株式譲渡による影響を除いて算出



免責事項



本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。